

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		療育支援工房 昭代教室		公表日 令和8年2月20日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5	昭代教室では、2階を学習室として設けている為、学習時に分散させ集中できるよ環境整備を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5	出来る限り送迎で色々な関わりのある学校と一緒に送迎に行けるように打合せを行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	階段があるため、階段の上り下りで職員が付き安全に配慮を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		掃除の際におもちゃの消毒を行っている。季節に合わせた掲示や行動に関してポップを作成している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	別の部屋として使える場所があまりないため、状況に合わせて話を作れる環境を作るようにしている。	洗面所を使うことがあり、話をしている際に手を洗う生徒さんもいるため、話を聞ける環境整備が出来ないことがある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	日々のミーティングにてそれぞれの目標等の設定や振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		保護者様の評価を見たことがないため共有をして頂きたい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティングの機会があるため、その場で職員の意見などを聞き、把握できるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		外部評価があっているのか不明の為、あっている場合、共有をしていただきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		リタリコ研修などや感染対策など、研修を受ける機会あり、その都度職員のスキルの向上など確保することが出来ている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		児発管や専門支援員が主となり行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		児発管の方が中心となり行っている。また、職員も一緒になってその生徒さんの課題について向き合うことが出来ている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児発管の方が紙を回し、その紙に生徒さんの課題や成長点等を書き出し、話し合いを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		保護者様と面談後、職員に共有を行い、保護者様からの要望などもあるため、共有を行った日から支援ができるようになっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		項目の詳細を分けて記載することが出来ている。内容も保護者様から見てわかりやすいように記載が出来ている。また、共有を行った際に、内容の理解する必要がある。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	ミーティングの時に外出イベントなどの案の意見の話し合いを行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	専門支援など、それぞれの生徒に合わせてプログラム等を考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		生徒さんが1人遊びや関わりに応じて作成と支援を職員で行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		ミーティングで送迎やその日来る生徒さんの情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援後、終礼時に短い時間で行っている。また、次の日や長期期間中などは、生徒の迎えがあるまでの間に少しずつ共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		ミーティングの際に職員で共有を行ったことに関しては議事録として記録に残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に1回立てた個別支援計画の振り返りを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2		外出イベント等では外出先の地域の方と交流することが出来ているが少し地域交流の場が少ないと思われる。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		生徒の気持ちの汲み取りや職員の声掛けにより、生徒自身で考えて自己決定できるように促しを行っている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		相談支援員の方や保護者様と一緒に1年間の姿の共有やどのようにしてほしいのか一緒に考えられるようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	送迎時など気になったりしたことについては、保護者様から情報の提供をしていただくことがある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		担当者会議や支援級などの担任の先生からその日の様子について伺うことがある。また、伺ったことについては、その日に職員に共有を行い、支援につなげている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	その状況によって通われていた保育所などに連絡を取ることはある	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	その状況によっては情報の提供を行うこともある	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時にその日の生徒さんの様子について絵が浮かぶように申し送りをしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明を行っている		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談時に保護者様のニーズやこどもの主張などを踏まえて面談を行っている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	面談で行っている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	面談や送迎時に保護者様から相談があったときには、助言などを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	職員から情報を頂き、正しい情報を伝えられるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログや日々の提供記録などを通して活動内容やどのように過ごしているのか発信をおこなっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	生徒さんの状況については鍵付きの書庫で管理を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	送迎時など、保護者様との意思疎通が出来るように申し送りなどを行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	教室や車の中にマニュアルを入れて、すぐに対応が出来るようにしている。また、訓練なども行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	生徒さんと一緒に洪水などの避難の練習を行い、その状況になったときに対応が出来るように行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時などにアセスメントし、事前に把握して支援が出来るように行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者様を通してアレルギーの確認とおやつや食事の際に場所を分けるなど配慮している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	研修や訓練などその月によって取り組みは、違うが安全の確認を行い、支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	自教室内のヒヤリハットだけでなく、他教室で発生したヒヤリハットも共有を行い、次同じことが発生をしないように意識を高めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修を通して職員で確認しあったり、意識を高めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	研修を通して職員で確認しあったり、意識を高めている。		